

箱根駅伝3連覇! 青山学院大学の第1区走者

キラリ輝く
輝き人
Vol.10
日光に生きる人



青山学院大学陸上競技部 かじたりゅうや **梶谷瑠哉さん**

今月は、第93回東京箱根間往復大学駅伝走(箱根駅伝)で青山学院大学(以下「青学」)の1区を力走した市出身の梶谷瑠哉さんを紹介します。梶谷さんは現在、教育人間科学部の2年生です。

優勝した今の感想は?

強い青学に来てよかった。このチームで走れたことをうれしく思います。高校時代に1区を担当した経験があったので自信はありました。

スタートラインに立ったときは?

前日から早く走りたい気持ちで、当日はプレッシャーよりもわくわくしていました。また、自分がしっかり走れば、後は先輩たちがいるという安心感がありました。

区間4位の結果は?

決して満足のいく順位ではありませんが、東洋大学の服部選手に離される怖さがあったので、トツ

プと4秒差でタスキをつなげられてよかったです。

優勝の要因は?

4年生の強いリーダーシップが発揮されたチーム力です。

駅伝を始めたのは?

小中学校時代はサッカー部でしたが、「フォームがいい」と恩師に勧められて駅伝を始めました。県大会で区間賞を取るなど記録が伸びておもしろくなってきました。

部員数は? 部の雰囲気は?

長距離の部員は50名弱です。とても明るく、普段と練習時のメリハリがあります。

原監督に言われたことで印象に残っていることは?

9月に故障し、出雲駅伝に出られないショックで落ち込んでいたとき「箱根には間に合う。あきらめるな」と何度も励まされたことです。

1日の練習量は?

走行距離にして平均30kmは走っています。

今まで辛かったことは?

故障期間が何より辛かったです。自分は故障が多いので、周りの選手が速い分、焦る気持ちも大きくなります。

時間ができたら何がしたい?

おいしいものを食べに行きたいですね。特に寿司が大好き。大会前は生ものを自粛するため、駅伝後、すぐに食べに行きました。

今後の抱負は?

チームの柱になることです。そして3大駅伝で区間賞を取ることが最大の目標です。

♡インタビューを終えて…

「高校時代も故障が多く、大きな実績が残せませんでした。でも、箱根で走った姿を見て、両親がとても喜んでくれました」とうれしそうに話す梶谷さん。謙虚な受け答えとは対照的に、真っ直ぐな眼差しで「区間賞を狙います」と言い切る表情は、きつと(青学の)強い選手たちの中から選ばれた自信から来るものなのでしょう。けが無く、一層の活躍を願い、来年の箱根駅伝も梶谷さんの勇姿が見られることを期待しています。

